

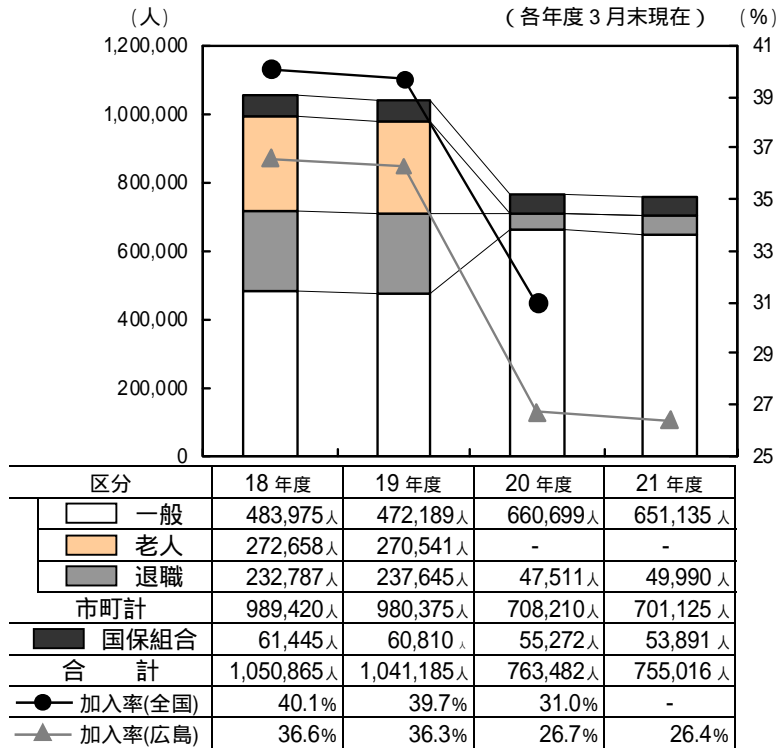
平成 21 年度 広島県の国民健康保険医療費等の概況について

1 国民健康保険

(1) 被保険者数の推移

市町国民健康保険の被保険者は 701,125 人 (加入率 26.4%) になりました。

広島県の国保被保険者数の推移



「一般 (一般被保険者) 」とは
国保被保険者のうち退職と老人を除いた被保険者

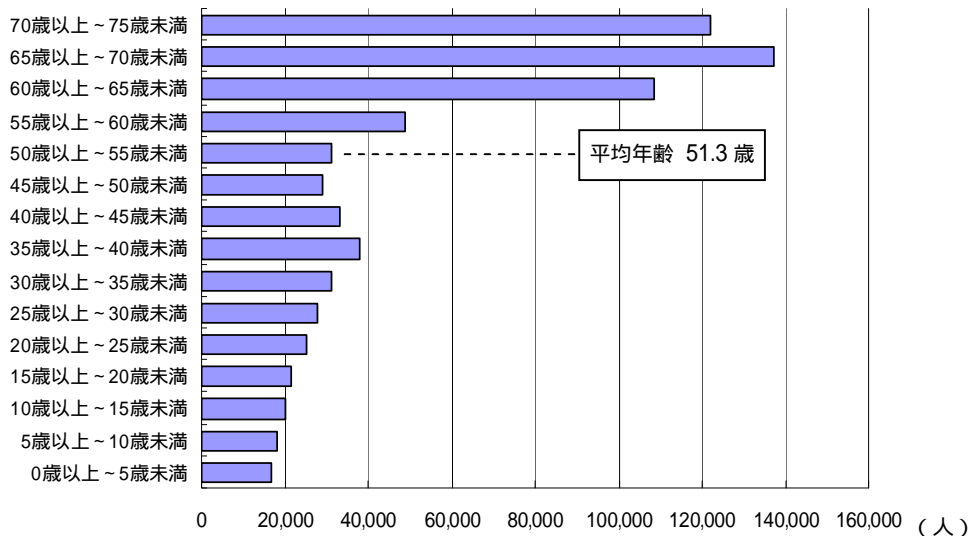
「老人 (老人保健医療給付対象者) 」とは
国保被保険者のうち、老人保健法の規定による医療給付を受けた者。平成 20 年から、75 歳以上の方は、「後期高齢者医療制度」に移行した。

「退職 (退職被保険者等) 」とは
国保被保険者のうち、被用者年金の老齢 (退職) 年金受給者である退職被保険者 (本人) とその家族 (被扶養者) 。

加入率とは総人口に対する割合をいう。

広島県の市町国保の年齢階層別被保険者数 (平成 22 年 3 月末現在)

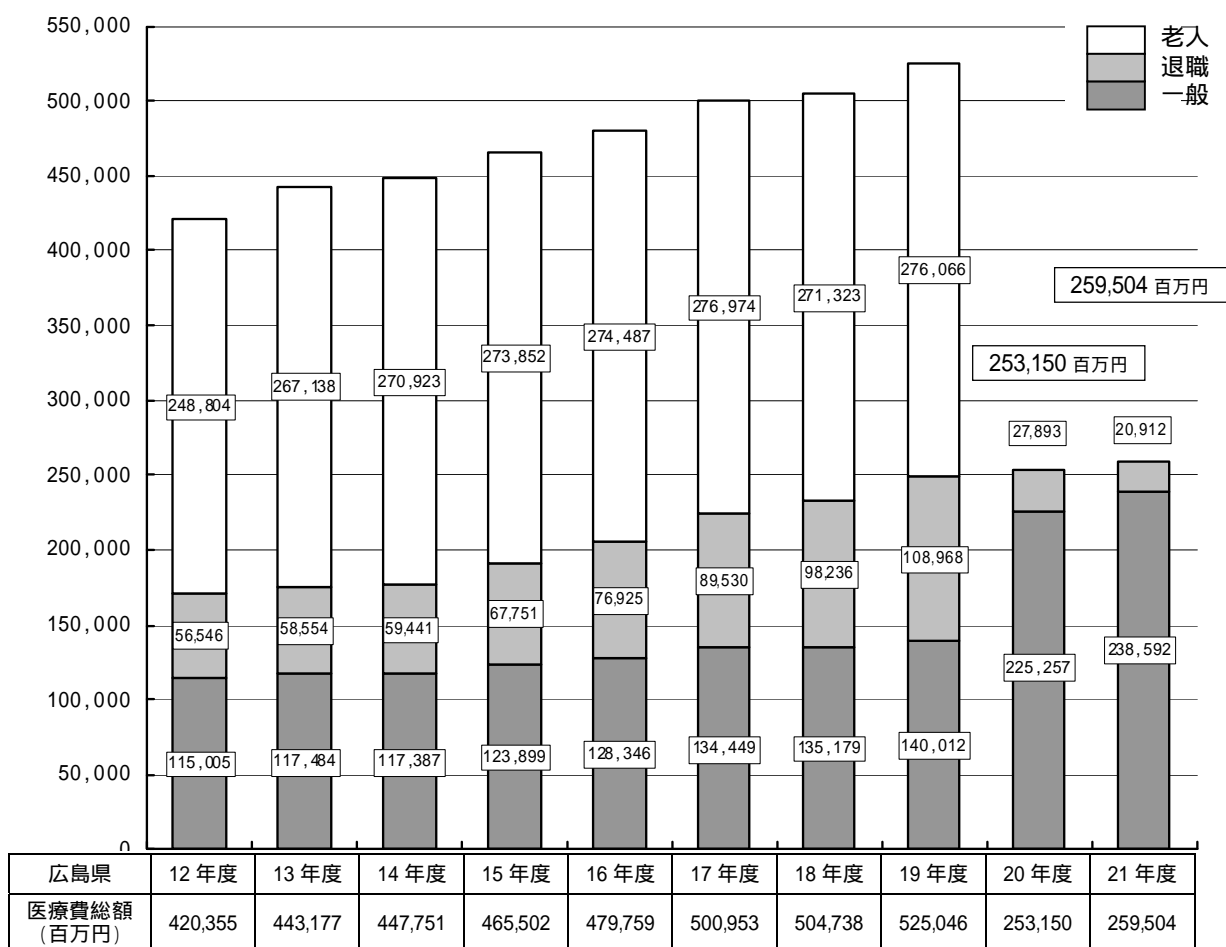
(年齢)



(2) 医療費の推移

本県の国民健康保険の医療費は、平成21年度は対前年度比で約2.5%増加し、2,595億円となっています。

(百万円) 広島県の国民健康保険医療費の推移



医療費は市町国保及び国保組合の計
 平成20年度から後期高齢者医療制度が創設
 老人医療費(～H19年度)は国保加入者分

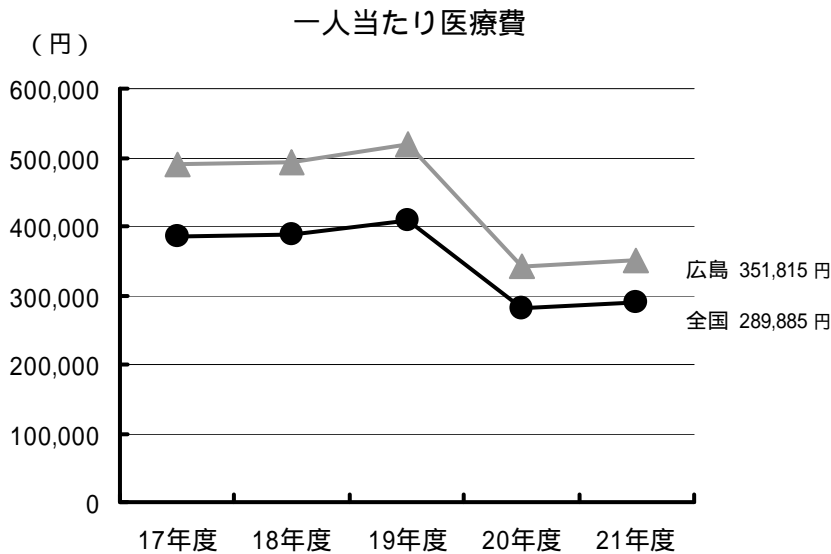
(3) 一人当たり医療費の推移(市町)

一人当たり医療費で見ると、全国に比べ約6万2千円高く、約1.21倍となっており、都道府県別で最も高く、最も低い沖縄県の約1.46倍となっています。

本県の一人当たりの医療費が高い理由としては、

10万人当たり一般診療所数が全国8位(平成20年10月1日調査)と医療機関が充実
被爆者医療、福祉医療等の公費負担医療が充実
高齢化の進展

などが考えられます。



平成21年度《速報》
一人当たり国保医療費
(円)

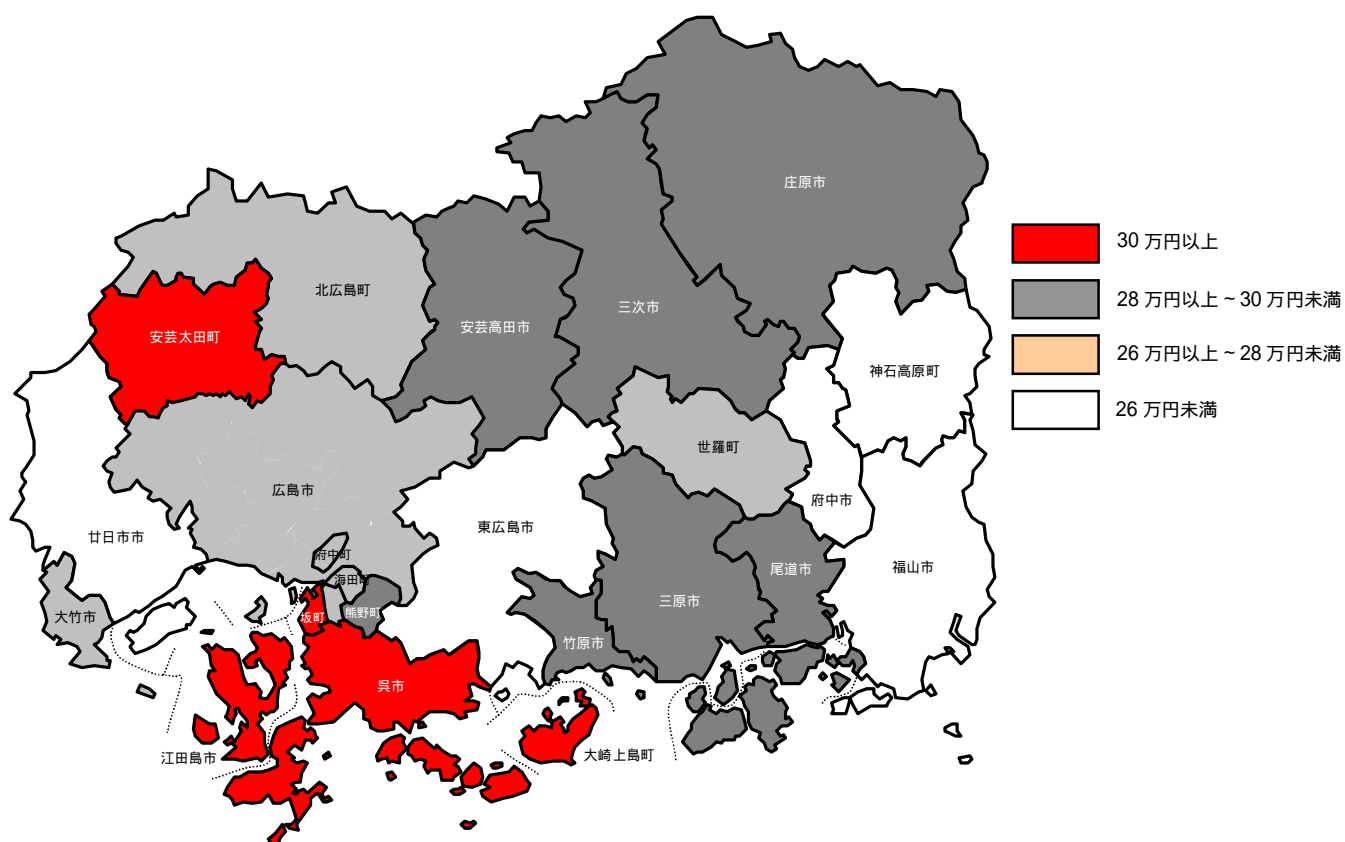
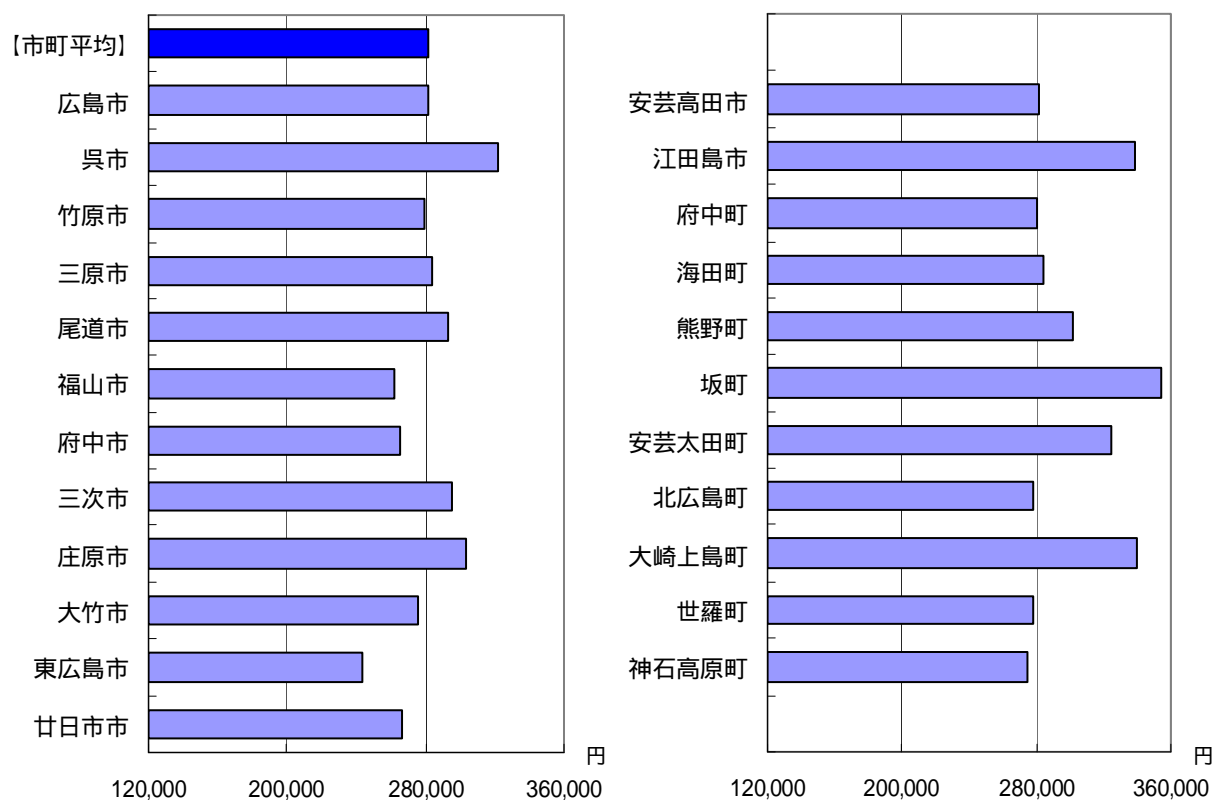
順	都道府県	H21年度
1	広島県	351,815
2	山口県	349,171
3	香川県	346,873
4	島根県	346,810
5	大分県	346,638
6		
46	茨城県	247,156
47	沖縄県	240,938

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
(広島) 一人当たり医療費(円)	488,755	493,683	517,760	342,609	351,815
(全国) 一人当たり医療費(円)	386,443	389,547	407,308	281,761	289,885

- 1) 一人当たり医療費は広島・全国ともに市町村計
- 2) 平成21年度の一人当たり医療費は速報値
【資料】平成21年度 国民健康保険事業年報(厚生労働省速報)
- 3) 平成20年度は後期高齢者が移行したため、一人当たり医療費は下がっている。

(4) 市町別一人当たり診療費

平成21年度の県内一人当たり診療費（入院・入院外・歯科の合計）を比較すると、一番高い坂町と一番低い東広島市では1.45倍、約11万円の差があります。

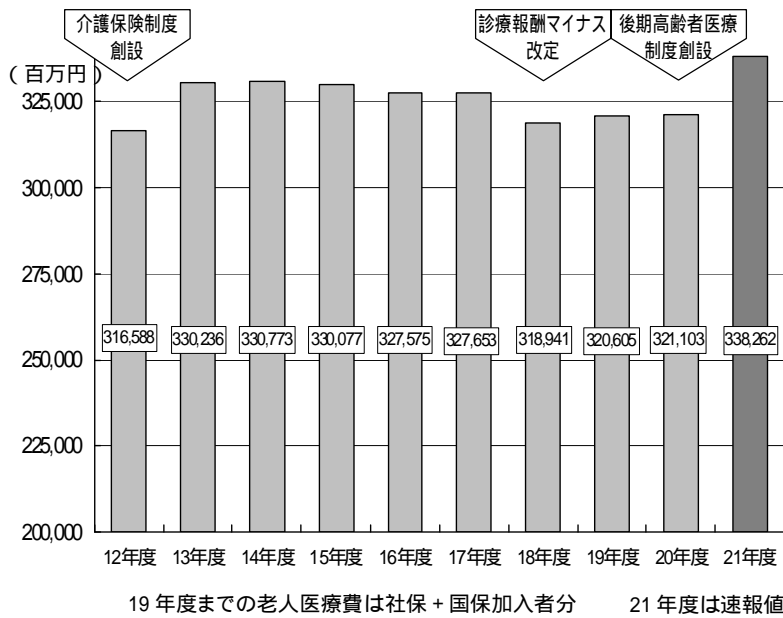


2 老人医療・後期高齢者医療

(1) 医療費の推移

平成20年度に「後期高齢者医療制度」が創設され、平成21年度の後期高齢者医療に係る医療費は対前年度比で約5.34%増加しました。

広島県の老人医療・後期高齢者医療の医療費の推移



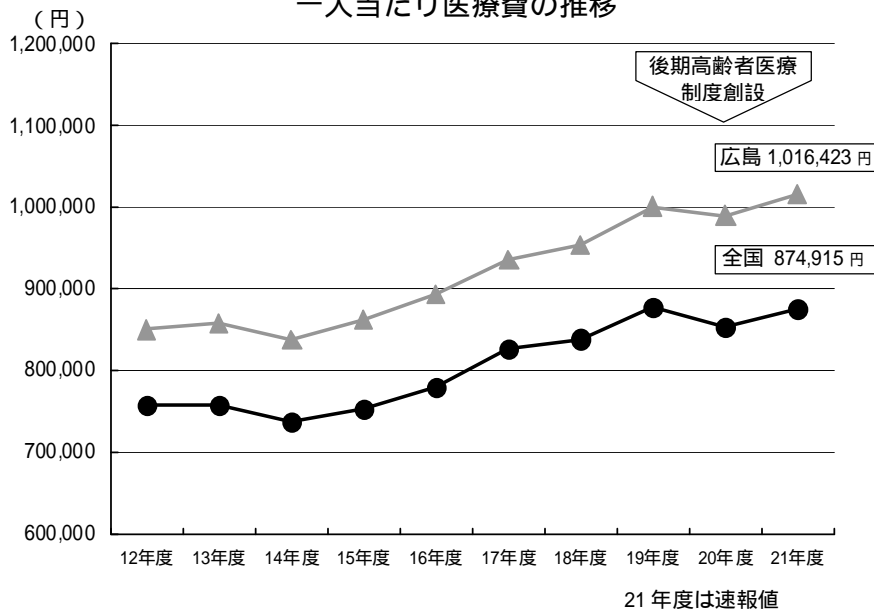
広島県の後期高齢者医療被保険者数
(平成22年3月末現在)

区分	65～74歳 (障害認定を受けた方)	75歳以上	計
被保険者数	12,423人	319,661人	332,084人

(2) 一人当たり医療費の推移

一人当たりの医療費で見ると約101万6千円で、全国に比べ約14万2千円高く、約1.16倍となっており、都道府県別では4位となっています。

一人当たり医療費の推移



平成21年度《速報》
一人当たり後期高齢者医療費
(円)

順	都道府県	H21年度
1	福岡県	1,107,709
2	北海道	1,052,948
3	高知県	1,048,788
4	広島県	1,016,423
5	長崎県	1,011,082
6		
46	岩手県	723,946
47	新潟県	719,530